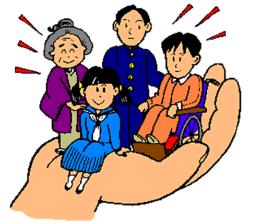


橋本・伊都・那賀租税教育推進協議会長賞



「ありがとう税金」

高野町立高野山中学校三年 橋詰 青空

僕は人々がよく「税金消えてほしいなあ」と言っているのをききます。しかし、税金というものが日本になかったら僕は今頃とても大変だったと思います。その理由の一つとして僕のお父さんは消防士、お母さんは看護師という双方税金があつてこそ収入が安定する職務だからです。このように人を助けながら生きていくという選択肢があるのも税金のおかげです。僕たちの家庭は税金のおかげで成り立っているといっても過言ではないほど支えられています。税金が無くて困ってしまうのは僕たちだけではありません。理由は、みなさんが公共サービスを使う度にそれらは全て有料になるからです。そうなるってしまうとこの日本は一体どうなってしまうのでしょうか。僕が小学生のとき、ある友達が下校中に転んでしまい、頭に大怪我をおこしてしまいました。そこにいた僕ともう一人の友達は大パニックになったのですが何とか助けてあげられることができました。僕は医療に関しては何も無知なただの学生です。でもこんな僕にも一一九番通報をし、救急車を呼び出すくらいのはしてあげられます。でも、世に税金というものがなければ、僕は勝手に救急車を呼ぶことはできなかつたかもしれせん。理由は多額な費用が彼に請求されるからです。仮に救急車を呼べたとして、医療費も全て自己負担となります。僕も足底腱膜が炎症する足の病気を患っていますが、税金があるおかげで助かっています。他にも、道路の整備、学習補助、ゴミの回収と処理、一一〇番通報やパトロールなど数えきれないほどの援助がされています。さらにはODA「政府開発援助」という貧困な国に道路を建設したり、病院をつくり、そこで使う薬や器具等を送ったりし、世界の人々を救う活動にも、税金は使われています。このように税金は僕たち、日本国民、世界の人々をも救う力があるのです。そして日本のみなさんにあなたが納税した一円一円は僕たち日本国民の命に響いているということを知ってほしいです。今は僕がみなさんに助けてもらっていることの方が多いのですが、いつか社会人になったとき、少しでも納税で日本に貢献できたら良いと思います。